

総括質問

3月定例会では、保育所の待機児童対策やまちの整備計画、産業振興、福祉政策、教育など、市政の課題に対して13人の議員が総括質問を行いました。
※質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています

清風クラブ

片倉 章博 議員

片倉 章博 議員 始動！平塚の未来へ 湘南海岸公園再整備 計画と平塚新港

問 本市の第2次都市マスタープランでは、海岸沿いを中心としたエリアを「ひらつかなぎさステージ」とし、整備方針を定めているが、平塚新港や湘南海岸公園ゾーンの考え方、龍城ヶ丘ゾーンの活用方法を伺う。
都市整備部長 湘南海岸公園再整備計画において、湘南海岸公園ゾーンは既存施設の配置の見直しや更新、駐車場の拡大や、地域の特産品などを取り扱う売店の設置を検討している。龍城ヶ丘ゾーンは、プールの跡地を活用した多目的広場や駐車場、トイレなど便益施設の整備を検討している。これらの施策を通して、魅力ある施設づくりを目指す。

中心市街地周辺の 今後の考え方

問 都市マスタープランの「中心市街地の取り組み方針」に「気軽に散策でき、楽しさを享受できる」とあるが、現状はどうか。
都市整備部長 中心商店街で行われる販売促進イベント

須藤 量久 議員

須藤 量久 議員 産業の活性化

問 活性化には各産業の連携を図り、平塚ブランドの創出を促進することが重要だと考える。産学公の連携も含めて見解を伺う。
副市長 産業間連携促進事業では、新商品の開発支援や、「六次産業化・地産地消法」に基づく事業認定の支援を進めている。また産学公の連携では、新商品や新技術の開発に当たって、大学や県の機関と事業者が共同で行う研究を支援した。

副市長 ホームページやツイッターなどの広報媒体の活用、市内外の見本市や物販イベントにおける市長によるトップセールスなどを行っている。
問 情報をどう発信するかによって、結果に大きな差が出る。シティセールスの推進本部を設置して取り組むべきだと考えるが、市長の見解を伺う。
市長 私も同様に思っている。市を売り出すための体制をしっかりと作っていききたい。

市街地では、商業地域の場合、容積率が500%以上の地区、また明石町においては500平方メートル以上の敷地があれば高さ制限をかなり緩和できる規定になっている。今まで分かった部分があるのでも、周知を図っていききたい。
まちづくり政策部長 中心

スポーツを通じた まちづくり

問 2020年の東京オリンピック・パラリンピック

のキャンプ地の誘致について伺う。
市長 東京オリンピック・パラリンピックを平塚から支えて、開催と一緒に進めていくような体制にしたい。種目として話があるのがサッカー、競輪、ビーチバレー、バスケットボール、水泳、柔道である。平塚はそれらを受け入れることができる施設と培ってきたノウハウを持っているので、積極的に動いていきたい。

ていく。フェイスブックなどによる情報発信は、課題の一つと考えている。
問 児童・生徒の学習環境の整備は重要である。新たに学校に防犯カメラを設置し、またエアコンの設置を拡充するが、考え方を聞きたい。
学校教育部長 防犯カメラについては、昼夜を問わず不審者対策として全小中学校に設置する。エアコンについては、現在、保健室やパソコン室、管理諸室に設置しているが、平成26年度は新たに中学校15校の図書室と音楽室に設置する。今後は、小学校28校でも実施していきたい。

湘南フォーラム

米村 和彦 議員

米村 和彦 議員 保育園・幼稚園の 耐震補強

問 耐震補強工事が必要な公立保育園、幼稚園とその対策を伺う。
健康・子ども部長 保育園は須賀、金田、吉沢、花水保育園で、幼稚園は土屋、金目、さくら、港幼稚園である。須賀保育園と港幼稚園は港地区認定こども園として合築を進めている。金田保育園は、民間資本によ

る代替施設の整備を進める。そのほかの園については公立園の在り方の検討結果により対応していく。
問 耐震補強の問題が残されている吉沢保育園と土屋幼稚園を統合して、吉沢公民館に併設した土沢地区の認定こども園の設置を検討してもらいたい。
健康・子ども部長 保育園は民営化を進めるが、幼稚園は認定こども園に移行している事例もあるので、新たな視点として十分参考に検討していく。

学童保育の新制度

問 学童保育については、児童福祉法の改正によって平成27年度までに条例化し、本市独自の基準を設けなければならないが、取り組み状況を伺う。
健康・子ども部長 厚生労働省では学童保育に従事する者の資格や研修の制度化、施設や設備の基準、開所日数、参酌すべき基準などを盛り込んだ省令の策定を進めており、平成26年3月中旬に公布する予定である。この省令を基に、26年度中に学童保育の基準を定める条例の策定を進める。

金目の区画整理事業

問 平成6年度から始まった真田・北金目地区の土地区画整理によって、どれくらい人口が増えたのか。
都市整備部長 事業開始前の平成6年1月から26年1月までの間で約600人の増加となっている。
問 住民は平塚駅と東海大駅前を結ぶバスの早期設置を望んでいるが、動きが見られない。課題は何か。
都市整備部長 バス事業者から、設置に向けたルートの検討に入っているが、交差点の改良が必要な箇所などがあり、バス路線として認可を受けることが困難であるとの回答を受けている。

平塚のPRRのため

問 原動機付自転車に本市オリジナルデザインのナンバープレートを導入してはどうか。七夕まつりや湘南

ベルマーレ、囲碁など、本市の魅力を生かしたデザインにすることで動く広告塔となり、PR効果も高いのではないかと。
企画政策部長 原動機付自

府川 正明 議員

府川 正明 議員 大浜地区土地 区画整理事業

問 昨年の9月定例会の中で、千石河岸の大浜地区の将来の土地利用や整備の在り方について、新たな基本構想の策定を検討しているとの答弁があったが、どのような検討をしてきたのか。
副市長 大浜地区の新基本構想において、漁業と観光との産業間連携の拠点づくりを進めたいと考えている。庁内では、平成26年度に予定されているさがみ縦貫道路の開通に向けて早期に対応するため、新港へのアクセス道路の整備なども考えており、引き続きさまざまな角度から検討していく。

「道の駅」構想

問 須賀地域には観光的要素を取り入れた魚の「道の駅」構想を検討するとの話も出ている。どのようなまちづくりを考えているのか。
副市長 この地域では漁業関係者を中心に観光と連携した新たな地域の魅力づくりに取り組んでいる。地域全体を「道の駅」とする考えのもと、住環境と地域活性化を両立させるまちづくりを進めていきたい。

山原 栄一 議員

山原 栄一 議員 平塚の10年後 若者に選ばれる まちとなるのか

問 平塚の人口減少が続く中、近隣には人口が増加す

る自治体もある。若者や働き盛り世代に選ばれるまちとなるための課題を問う。
企画政策部長 経済の活性化、子育て支援および学校教育の充実が必要であると認識している。